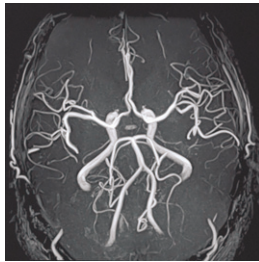


# 予防可能な脳卒中 けい動脈エコー、MRIで早期発見



西村内科脳神経外科病院  
副院長 吉本 幸生先生  
熊本大学医学部卒業  
脳卒中学会、放射線学会、  
MRI学会、感染症学会会員



MRIを使った脳血管撮影。  
造影剤を使わずに検査ができる

脳卒中とは、脳出血、脳梗塞、クモ膜下出血など、脳血管の病気の総称。高血圧治療の進歩により減少傾向にある脳出血に対して、脳梗塞は増加しています。ですが、症状の出る前の人を未然に治療することが可能になっていないか。脳卒中の予防と対策について詳しく伺いました。

—— 脳卒中を早期発見するにはどうすればいいのでしょうか？

吉本 最近増加している脳梗塞の場合、MRI（磁気共鳴断層装置）を撮って過去に発症した小さな脳梗塞がないか発見することが大切です。しかし、もっと大切なのは、脳ではなく首のけい動脈に異常がないかを早期に確認することです。

—— どんな検査を行うのですか？

吉本 けい動脈エコーです。首のけい動脈は動脈硬化になりやすく血管の道幅が狭くなることがあり、それが危険なのです。けい動脈で動脈硬化を起すと、その部分は傷つきやすくなります。傷

しびれ、力が入らない、箸を落とす、めまい、言葉が出ない…初期症状を見逃さないで

—— どんな検査を行

がつかなく、傷を治すために血小板などが集まり、そこに血栓（かきぶた）ができてしまいます。そして、血栓がはがれて脳の血管まで「飛ぶ」ことがあるのです。このため数分から30分程度で症状が消えてしまう「過性脳虚血発作や重篤な脳梗

塞が起ってしまう。—— どんな症状が出るのでしょうか？

吉本 しびれ、力が入らない、箸を落とす、感覚が鈍くなる、物が二重に見える、片側が見えない、舌がもつれる、言葉が出ない、ふらふら、めまいがするなどです。このような症状のある方は、できるだけ早くけい動脈エコーで動脈硬化の状態を

—— 特に注意が必要なのは？

吉本 けい動脈の動脈硬化は高血圧症、糖尿病、高脂血症の方に起こりやすい傾向があります。

—— クモ膜下出血の場合はどうですか？

吉本 血管が破裂すれば死亡率の高いのがクモ膜下出血ですが、MRIの発達で未破裂の動脈瘤を早期発見することが可能になりました。当院でもCTスキャン、MRIを各々台装備し、不測の事態にもすぐに対応できる環境を整えています。

—— 早期発見できれば発症する前の段階で治療ができるのですか？

吉本 そうです。破裂するまで無症状のクモ膜下出血ですが、自己防衛手段がいくつかあるのです。このように脳卒中は、予防と対策で防ぐことができる病気です。心配な方はけい動脈エコーなどを早めに受けることをお勧めします。脳ドックにかかる時間は半日、よく料金も3万円台からと随分安くなっています。

労災保険指定病院 生活保護指定病院 原子爆弾被爆者医療指定病院

内科・脳神経外科・消化器科・循環器科・放射線科・呼吸器科

医療法人 知新会

## 西村内科脳神経外科病院

## 東部クリニック

院長 西村 誠一郎

- ◆ 健康診査の実施
- ◆ 胃・大腸・肝臓・乳ガン検診
- ◆ 人間ドック・脳ドック

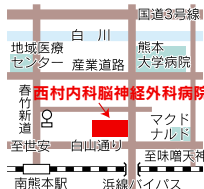
駐車場  
完備

受付時間

月曜～金曜 8:00～17:00  
土曜 8:00～11:30

熊本市南熊本2丁目7-7

☎096-363-5111(代)



診療時間

月曜～金曜 8:30～17:30  
土曜 8:30～12:30

熊本市秋津新町1-28

☎096-369-3331

